

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ミクシード習志野鷺沼		
○保護者評価実施期間	R6 年 4 月 1 日		～ R7 年 3 月 15 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	R6 年 4 月 1 日		～ R7 年 3 月 7 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R7 年 3 月 17 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動スペースの広さ	視覚的に問題行動の誘因とならぬよう構造化を図り、子どもたちが安全かつ活発に行動でき、プログラムにも取り組みやすい環境づくりを行っています。	物や場所の構造化は一定の効果を出しているが、声や動きに対しては誘惑が多く、事業所として課題となっている。事業所の強みを無くさぬよう移動式のパーテーションの購入やプログラムや状況に応じた配置の考案等を検討します。また清潔さの維持に努めます。
2	支援の提供や保護者様との情報共有、共通理解、相談・助言	ニーズや困難度によりますが出来る限りプログラムは固定化しないよう、いつ何のプログラムを実施したかを表にして共有し支援を行っています。また短時間でもお話を伺う機会をいただき、その内容は記録し職員で共有しながら支援を行っています。	利用が少ない方はプログラムが固定化される可能性も高く、保護者様とお話する機会も少ない為、理由を伺った上で利用しやすい環境づくりや様々な方法での情報共有を検討します。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時等の対応	各種マニュアルは整備し訓練も行っていますが、周知に関しての取り組みが圧倒的に足りていません。	支援に関する部分以外でもお便りやHP等で広報活動を行って周知に取り組みます。
2	直接支援面以外の取り組みについての事業所内共有と制度の理解	直接支援業務にあたる事を重点としていたので、行き過ぎた配慮による共有、教育不足。	教育体制の構築と勉強会を実施していきます。